

道連ニュース

2010年10月号 No.52

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

道連報告

「賀川豊彦 献身記念」北海道集会の詳細を議決

道連第3回理事会を開催

当会は第3回理事会を10月7日に開催しました。議決事項は①「賀川豊彦 献身100年記念事業」北海道集会の開催、②「負担と給付」学習会の後援、③会員生協紹介パンフの発行、④会館内の自販機管理受託、⑤道連職員の定年対応の5つで、いずれも議決されました。また、審議事項として「2011年度予算作成」について、会員生協の会費の特別減免が今年度で終了することもあり、1月理事会での議決にむけ協議しました。報告事項は、①一般活動経過報告、②上期決算

報告、③くらしの相談室9月報告、④寄付及び後援でした。また、日生協地連事務局長から①添加物等化学物質のリスク管理、②生協における多重債務相談・貸付事業研究会について報告がありました。尚、会員生協からの話題提供として、生活クラブ生協から①概要、②運動の広がり、③経営について報告がありました。

次回は1月開催で、6月総会にむけての一次審議～予算・定款改正・役員選任～が予定されています。

第2回2010ビジョン(会計基準)検討会が開催されました

～宮部日生協法規会計支援室長がゲストに～

8月の第1回に引き続いて、第2回目が9月28日にゲストとして日生協の宮部好広氏を招いて開催されました。会では生協総研の「資本・会計制度研究会報告書」をベースに、①問題の見取り図と最近の問題、②そもそもその問題意識、③組合員と生協との法的関係、④生協における会計基準について氏の所見を伺いました。

合併会計をめぐる経過のなかで、2010年5月に生協法施行規則第66条が改正されました。「一般に公正妥当と認められる企業会計の基準その他の会計の慣行をしん酌しなければならない」との旧則のうち、ゴシ

ック部分が削除され、生協の合併に持分プーリング法を適用できることになった。氏は生協における独自会計基準を作成するほどの違いはないと考えるとのことでしたが、「生協会計のあり方に関する検討の場」についてタイミングを測って提案される見通しであるとのことでした。(第2回日生協経理委員会)

次回は10月28日に最後の生協会計基準委員会メンバーだった吉見宏教授(北大生協・大学事業連合各監事)をゲストに開催が予定されています。

ご案内

『賀川豊彦 献身100年記念・北海道集会』

～伝えたい、100年前の「献身」～

日時 11月12日(金) 午後2時45分～4時30分
会場 札幌パークホテル 3階エメラルド
演題 賀川豊彦に学ぶ
明日の北海道と協同組合を考える
講師 金井 新二氏(北星学園大学学長)
主催団体 「賀川豊彦 献身100年記念・北海道集会」
実行委員会
共栄火災海上保険・J A共済連・全労済生協・労働金庫・北海道生協連
お問い合わせ 北海道生協連 ☎011・841・8601

『福祉国家をだれが支えるのか』

～日本における税制論議の欠陥～

日時 11月26日(金) 10時～11時30分
会場 コープさっぽろ北12条店
2階及び全道10ヵ所のTV会場
講師 山口 二郎氏
(北海道大学大学院 法学研究科教授)
主催 コープさっぽろ
(後援:北海道生活協同組合連合会)
お問い合わせ コープさっぽろ・組合員活動部
☎011・700・5461

生活クラブ 生協 組合員と生産者でつくる「わくわくまつり」を開催しました

10月17日（日）、札幌コンベンションセンターにて、組合員と生産者でつくる「わくわくまつり・つくる手食べる手その手はひとつ」が開催されました。生活クラブ北海道全体で市民にアピールするまつりは一年に一度で、今年も約4000人の来場者がありました。

組合員は生産者といっしょに生活クラブのオリジナル消費材（商品）を販売することで、生産者をより身近に感じることができました。各支部からの出店では、たこ焼き・カレー・豚汁・豚丼・ナンピザ・チヂミなど、すべて素性の確かな生活クラブの消費材でつくられているので、小さい子にも安心して食べさせることができます。また、ステージでは、新琴似太鼓保存会、北高吹奏楽部による演奏などで盛り上がったあと、会場にいるみんなで「世界に一つだけの花」の大合唱。それは、生産者と組合員、組合員と組合員のつながりを



4000人が来場した生協クラブ生協「わくわくまつり」

大切にしている生活クラブらしさが伝わってくるものでした。

そして、見逃してはならないのは各委員会活動の展示です。安全な食、きれいな水や森を残していこう、核のない平和な未来を残していこう。そういった願いが込められた展示には私たち組合員活動の原点を再確認できるまつりになりました。

札幌医療 生協 第11回ふれあい病院祭が開催されました



病院の1階ロビーで演奏された「沖縄三線」

8月21日（土）13時より『第11回ふれあい病院祭』が開催されました。当日は天気も良く絶好のイベント

日和となり、外の模擬店会場には開店前より大勢の方に来て頂き、大変な賑わいを見せていました。

1階ロビー会場では14時より沖縄三線の演奏とホスピタルクラウン（ピエロ）のパフォーマンスが行われました。沖縄三線は当院の中島副院長と仲間達により演奏されましたが、大変な盛り上がりで、最後は数十名が踊り出し、とても盛況に終了しました。また、ピエロのパフォーマンスは子供達に大変好評で、楽しい時間が過ごせたのではないかと思います。その他、伊藤太郎画伯の水彩画展や、フリーマーケット等も行いどれも盛況うちに終了することが出来ました。

今回はフリーマーケットの売り上げを、すべて24時間TVの方に寄付させて頂きました。少しでも社会貢献に繋がれば幸いです。今後も地域の皆様との交流を密にし、地域に根ざした病院を展開していきたいと思っています。

室蘭工大 生協 文庫の運営や自由市場などに取り組む地域委員会

室蘭工大生協には大学生協としては珍しく地域の組織があり、5人の地域委員がいます。活動のねらいは組合員さん達の声を拾い親睦を深めることですが、かつてのように「班会」というものがあるわけではありませんので、難しいのも実情です。

毎月1度地域総代会議（生協店舗のことを話し合い、互いの生活情報を交換）を行ったり、文庫を運営したりしています（主に児童書の貸し出しですが紙芝居や絵本の読み聞かせも行ない、小さなお子さんとお母さんが毎週来ています）。また、毎年秋には「自由市場」と称して、小さなお祭りのような市を開いています。リサイクル品（各家庭の不用品を持ち寄って…）や手作り品、手作りの食べ物・地産の品などを販売して、得られた収益を身近な災害その他に寄贈しています。20年以上続いていますので、その時期になると「今年



「文庫」の様子

もやるの？リサイクル品を用意しているから…」と地域の組合員さんが声をかけてくれます。お蔭様で今年度も2万円ほど「北海道盲導犬協会」に寄付することができました。有り難くうれしいことと思っています。



恒例の「自由市場」